

総務文教委員会記録

令和4年1月17日（月）
10時00分～10時27分
全員協議会室

【委員】 永見委員長、三浦副委員長
肥後委員、大谷委員、芦谷委員、佐々木委員、西田委員

【委員外】

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間書記

【議題】

1 今後の取組課題等について（委員間で協議）

2 その他

【議事の経過】

[10 時 00 分 開議]

永見委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。
本日は芦谷委員、肥後委員から欠席届が出ている。出席委員は5名で定足数に達している。
それではレジュメに沿って進めさせていただく。

1. 今後の取組課題等について（委員間で協議）

永見委員長

この取り組み課題については11月30日、そして12月16日に課題を出していただき、またそれぞれ委員の皆にご説明や意見をお聞きしたところなので、皆もそのあたりはご承知だと思う。そういう流れで前回まで終わっている。

今回はこの取り組み課題についてのいろいろな協議をして、決定させていただきたい。

前回の委員会の中で、一応、正副委員長の思いも提案していただいて進めていったらどうかという意見もいただいたので、正副委員長の意見、思いをここで少しお話しさせていただければと思うのでよろしく願います。

前回八つのテーマをいただき、そのテーマに沿ってであるが、協働のまちづくり関連の取り組み課題として、三浦副委員長の「公民館のあり方」、そして西田委員の「住んでよかったと思える定住環境について」、そして芦谷委員の「市民の市政参加への制度づくりについて」は、今後執行部からの報告や所管事務調査でできるのではないかと考えている。

また佐々木委員より、「子どもの学校での居場所づくり」、大谷委員の、「市内県立学校との連携強化策について」、そして肥後委員の「デジタルトランスフォーメーションの導入で教育力の向上」は、個々のご提案も具体的にあるが、令和2年度に幼児教育について教育関係は取り組んでいるので、執行部からの報告や所管事務調査で今後も継続的に委員会で調査できるのではないかと考えている。

そしてまた、佐々木委員の「あいのりタクシー事業の推進」は、公共交通関係との連携で4年前に公共交通について、この総務文教委員会で視察に行き、委員会として取り組んでいる。交通については民間事業者との調整も必要で、簡単に結論が出る問題ではないのではないかと考えている。執行部の報告や所管事務調査でも取り組んではどうかと考えている。

そして三浦副委員長の「ダイバーシティの推進」は、議会でこれまで取り上げてきたことが少なく、SDGsや多様性が強調される昨今、重要なテーマではあるが、これまで委員会としても取り組みもない。

七つのまちづくり大綱第7の協働による持続可能なまちについて、市長の所信表明16ページに、人権尊重のまちづくりや男女協働参画の推進にもしっかり取り組むとの記載がある。また議長の所信表明でも、常任委員会の機能充実のために政策立案、条例制定まで進めていく必要があると言われている。最終目標を条例制定または条例改正とした場合、委員

会取り組みのゴールがわかりやすいのではないかと思います、多様性社会の推進に対して市の取り組みをたやすためにも、今取り組むべきだと私は委員長として、そのあたりの見解を持っている。

以上だが、皆のご意見を伺って、今まで皆がいろいろと提案していただいた内容等も含めて、今日は検討して決定させていただければと思う。よろしく願います。

では、皆のご意見があれば伺わせていただく。

それと本日欠席をされている芦谷委員から、「次回のことを明確にする入り口と出口を想像する、状況を把握する、提言を提案する、執行部の取り組みを促進する、条例を制定する」、ということで、この前皆いろいろとご説明やご意見をいただいた内容について、芦谷委員なりにここにまとめておられるので、また目を通していただければと思っている。

今いろいろと話をさせていただいたが、各委員のお考えがあれば発表していただければ。

佐々木委員

大きくまとめられた内容のご意見だったと思う。最終的にダイバーシティのところを取り上げていったらどうかということだったが、私もこの前、この件についてはまだ執行部も議会もほとんど取り組むことがなかったもので、取り組みやすいテーマだという発言をした。

しかし、市民生活にとっての必要性となると、そのほかにもいろいろと重要なテーマが上がっているのではないかと思います。私が提案した中でしかわからないので申し上げますと、教育については幼児教育に取り組んでいるとのことだったが、これはその中でということと言われたのかもしれないが、少し意味合いが違っている。子どもの居場所づくり、ひいては憲法に認められた子どもたちの教育をどう守っていくかという視点で、今後成長するにつれて学力が低下する、それについて市として、我々として、どう担保してあげるのかという視点でやったものであるし、あいのりタクシーについても、これも昨日、実はあるまちづくり委員会の方からご意見を伺ったのだが、非常に問題点が多く、今度質問でも取り上げようと思っているが、なかなか、乗り合ってタクシーを利用すれば市内どこでも基本500円で移動できるという、市民にとっては公共交通という大きな視点ではなく、非常に利用しやすい、移動しやすい手段だと思うので、これをいかにルールをしっかりとるか、これは今まちづくり委員会にお任せになっているので、そうではなくやる側がしっかりとルールをつくって、限られた予算内で必要な人にどう回していくか。そういったところを、市民やまちづくり委員会の意見も聴取しながら進めていったらどうかというところで上げたので。市民生活にとって必要性がどうなのか疑問があるので申し上げたが、取り組みやすいのはダイバーシティのほうがよいと思う。

西田委員

どのテーマも私はそれなりに。どれになっても私は一生懸命できるテーマだとは感じていた。その中でも市内の県立高校との連携などもなかなかおもしろいと思ったし、自分自身のもののほうがあまり評価しなかった。ふわっとした思いが強すぎたので。

先ほどのダイバーシティの推進は、私もこれは一つこれから先にはあるのではないかと注目しているところではある。

大谷委員

前回の経緯を踏まえて、委員長、副委員長で一つの提案をという流れでもあったので、今お聞きした中でダイバーシティに取り組むということに決すれば、それに異論はないところではある。ただ、多様性を求めていくということの中で、多様なので、それなりに幅があるかと思う。議会でもしてない、論議がまだ十分でないという点で。実際取り組むとした場合にはどのような方向性があるのか、出口を見据えながら、という話でもあったので、決めるに当たってはある程度、こういう方向性が見通せるということまで一応明確にしたところで、それであればいけるということであれば、これに決していくことについては、まとめていくという観点ではいたし方ないかとは思っている。そこを確認させていただいた上で、決していただきたいと思う。

永見委員長

三浦副委員長、今、大谷委員が言われたところまで含めてご説明いただければと思う。

三浦副委員長

まず今大谷委員からのご質問にお答えしたい。

一覧表にもあるように、北上市や世田谷区など他市他区の条例の状況を調べてみると、男女協働参画と多様性社会を推進する条例など、発展的に男女協働参画を推進するという条例からそうした項目を加えて見直した事例や、あるいは抜本的に見直した条例や、新しく設置したものとか、さまざまにあるのではないかと思っている。

このゴールとしては、そうした現状の浜田市における男女共同参画、あるいは多様性を推進するという考え方、条例を含めた考え方がどのレベルにあるのか、どういう状況にあるのかということを中心に踏まえた上で、どこを目指すのかという、条例の見直し、考え方の見直しがゴールになるのではないかと思っている。

今の段階でどのような条例のあり方がよいのかということは、もちろん正解が見えているわけではなく、そこを議会の中で議論しつつ、浜田市におけるそうした考え方を議会主導でリードしていく必要があるのではなかろうかと、永見委員長とも話をしたところである。

私が申し上げるのもどうかと思うが、委員長からの説明を補足すると、ほかのテーマもどれも扱うに値する、それぞれに課題感も持ちながら大変選びにくい状況ではあったのだが、具体的にここにご提案を持っておられるものだったり、そうしたものは一般質問でもやっていけるのではないかと、執行部が既に取り組んでいるものに関しては、執行部に対して所管事務調査や今の委員会活動の中でも対応できるものがあるのではないかと、このダイバーシティの、私が提案したものではあるが、なかなか現状が十分でない中で、所管事務等で現状を問うていくのは限界があるということで、しっかり議論すべきテーマではないかということで、これを再度のご提案ということで正副からのご提案に至った経緯も補足してご説明しておきたい。

大谷委員

そういうことなら、浜田市として取り組む基本的な概念というか、方向性について条文化するということになるのだろうと思う。であるならば、人権宣言や、そうした基本的な理念をうたう、そこから他の条例等に不備というか、合わなくなってきたところを徐々に改正に向けていくという流れと理解してよろしいか。

永見委員長
大谷委員

その流れで一応考えている。

であるならば、この論議を通して他の分野にも大なり小なり影響を与えるという観点では、それぞれの委員がお持ちの提案にも影響を与えるというか、働きかけるといふことにもつながるので、そういう観点であればやってみる価値はあろうかと考えている。

永見委員長

今一応各委員の思いは、正副委員長の考えに対しての発言をいただいた。これから先どのような形で皆に提出いただいたテーマと、私が申し上げた内容について、それぞれ決めさせていただければと思う。どのような形で進めさせていただければよろしいか。

今、正副委員長の考えを発表させていただいた。

一定のご理解をいただけるのであれば、この形で進めさせていただきたいと思うがいかがか。

(「異議なし」という声あり)

ではそういう形で進めさせていただくので、一つよろしく願います。ではこのテーマに沿って今後どのような形で進めていくかも、今日は協議させていただければと思う。よろしく願います。

浜田市の現状も当然把握しなければならないし、先ほどから副委員長も、各自治体の事例も発表していただいたので、そこらの資料も取り寄せながら、そのあたりから勉強会も含めて出発させていただければと思うが、いかがだろうか。何かご意見があれば伺う。

今、他の自治体の事例も発表していただいたので、そのあたりの資料もまた取り寄せていただき、また、浜田市の現状も含めてしっかり把握して、どのような形で進めていくのかということも、その段階で勉強会を開いて、検討していけたらと思っている次第である。

まずその資料集めから進めさせていただこうと思うがいかがか。

(「異議なし」という声あり)

では他の自治体の資料として、先ほど副委員長が若干話をされたので、そのあたりの自治体の事例を若干お話いただければと思う。

三浦副委員長

先ほど大谷委員からもご指摘があったように、どこをゴールとするかがまず一つ大事な部分だと思うので、条例改正ないし、条例の見直しといったところを一旦はゴールと見据えて、そのために今、社会状況を見据えたときに今の浜田市における考え方がマッチしているのかどうかといったギャップや差分があるのかを把握していくところからスタートだと思うので、先ほど委員長が言われたように、浜田市における状況をまず全体的に把握するところから始める必要があるかとは思ふ。

その上で浜田市の状況、目指すべきところを見据えた上で他市の状況などをインプットしながら、浜田市でどのようにやっていくべきかといった提言に結びつけていくという流れだと思ふ。

どういった形で我々のインプットを進めていくかも、こちらで一旦預って、テーマみたいなものを皆にお示しして、その後、いやこうといったところの観点も必要なのではという意見をいただきながらまとめていくのがよいのではないかと思うが、いかがか。

永見委員長

そういう形で、できれば私ども正副で資料のまとめと、取り寄せと、そのあたりの取り組みのまとめを若干つくらせていただき、皆にまたお

示しし、ご意見を伺いながらどういう形でというものを決めていただき、前に進めていけたらと思うので、そのあたりは正副にご一任いただければと思うがいかがか。

大谷委員

方向性としてはそれでよろしいとは思ふ。やはり、これからの社会を目指す上で望ましい形を模索するという観点はあるが、それが浜田にとってプラスでないといけないので、市長も言われるように住んでよかったとか、浜田に住みたいとか、そうした、いわゆる浜田の活性化・発展につながるような、浜田に行ってみたい、居心地のよいまちだと、そのような方向性につながるようなところをベースに持ちながら、考えていっていただけたらと思う。

永見委員長

今ご発言いただいたところも含めながら、併せて次回にご提案できるような形で調整してみたいと思うのでよろしく願います。

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

それでは一応テーマを決定させていただき、そして今後どのように進めていくのかも併せて、今お話しさせていただいたので、そのあたりを含めて正副で資料の取りまとめを進めていきたい。

今後の取組課題等については一応ここで終わらせていただく。

2. その他

永見委員長

皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなら次回の委員会開催日を決定させていただこうと思う。一応、今後の予定として1月26日水曜日、また2月24日木曜日、3月4日金曜日に委員会が開催される。

1月26日に今皆にご意見をいただいたもので資料をつくらせていただき、また皆にお示しする形にさせていただきたい。よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

それでは1月26日総務文教委員会の議題の一つとして進めさせていただく。よろしく願います。

本日の総務文教委員会はこれで終わらせていただく。

[10 時 27 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員長 永見 利久 ㊟